

「第七次発掘調査」の報告

第六次発掘調査を平成30年春に実施しましたが、そのときにE層をほぼ掘りつくし全面的にF層に達しました。今回の平成31年度第七次発掘調査ではF層が中心、平成最後の春の発掘！ はしかけ古琵琶湖発掘調査隊を中心に多くの方々が参加していただき、にぎやかな発掘になりました。始まりは天気がよかったものの、後半は不安定な天気にも悩まされました。それでも、11日の予定のうち9日間掘ることができました。F層を掘り進めた成果はどうだったのでしょうか。発掘調査を振り返ってみましょう。

4月20日(土) 第七次発掘調査第1日目

晴

朝は霜がおりるほど気温が低かったのに、昼は雲ひとつない快晴の発掘日です。

たくさんの人が朝早くから集まっていただきました。発掘初日です。発掘準備の期間に重機で東の方まで溝を伸ばしていたので、地形がだいぶ変わったのですが、前回の第六次発掘の続き、ほぼすべてF層（地層は黄色の目印の下）を同じようにていねいに掘ることにしました。

まんなかにある土手「セクションベルト」をはさんで北側のF層をていねいに掘る班と、南側のF層のやや下位の部分を掘る班、そして、さらに発掘区域の東側の下位の地層の平面で足跡化石をしらべる足跡化石班とにわかれた調査をしました。

朝は9時ちょうどに、外に敷いたブルーシートの下で始めました。結団式・開会式では25年前の「アケボノゾウ全身骨格の発掘に深いかかわりをもつ多賀町教育委員会生涯学習課課長の挨拶からはじまり、続いて団長挨拶、参加者の自己紹介と続けました。

参加者は、はしかけ古琵琶湖発掘調査隊の大人数を含む36名で、きょうがいちばん多い日だと思います。小学生ではじめて参加するメンバーもいましたが午後の発掘まで熱心にがんばってくれたと思います。

学習会（9：23～9：50） 発掘地の古琵琶湖層群の位置づけと地層について（団長）

発掘地の地層の見方と掘り方

学習会の後2つのグループに分かれ準備をしました。

- ① はしかけ・専門班のグループ 計測の仕方と 今回一新した標本の記録のしかたのくわしい説明を聞いて発掘準備をする
- ② 多賀町発掘お助け隊のグループ 発掘地の位置決めや地層の重なりと掘り方、足跡化石の見方

休憩のあと班分け（5班編成）で活動しました。10時45分からの発掘第1限でさっそく「ワニの歯かもしれない」



というのが第8グリッドから出てきたようですが、くわしいことはこれからクリーニングしたりして検討します。風はあったのですが、あまりの好天で発掘地のグリッドの中は暑くて、さしいれにいただいた午後のアイスがとってもうれしく、この中には「あたり」の棒があったので、これに気をよくしてゾウもあたらなかと期待したほどでした。発掘は15時50分に終わり、反省会のあと16時20分くらいに帰りました。日焼けしました。



学習会…

「発掘地の古琵琶湖層群の位置づけと地層について」

「発掘地の地層の見方と掘り方（はしかけ、専門班）」（「現場の見方（多賀町発掘お助け隊）」

参加者…はしかけ：15名 多賀町発掘お助け隊：10名 専門班：6名 事務局：6名

（＋博物館事務局：1名）

参加された皆さんの感想【4月20日（土）】

- ・久しぶりなので右手が痛くなった
- ・久しぶりの現場でとてもうれしかったです。専門班の先生方のお話をうかがったり、皆さんで教えあったりしながら作業できてとても楽しかったです。
- ・別班で午前中にワニの歯らしき物が出ました。初日からいろいろ出てるようなので期待できそうな気がします。 ・E・Fのはざまで木片がいっぱい
- ・初日でいきおい込んでスタートしたものの、これというものは採集出来なかった
- ・少し場所が違っただけで化石の産出量が大きく異なるようです。
- ・化石の見方など教えていただき、実際にみつかるとうれしく楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・かせきがみつかった。 ・簡単には出てきませんね。根気勝負です。
- ・昆虫の羽が出たときは疲れがとんだ。小中学生の男子の参加者が独自の掘り方をしてるのがおもしろかった
- ・とりあえず開始10分ほどで昆虫が出てきたが……その後は沈滞ぎみ。暑くて疲れた頃に咽頭歯。ますますでしたでしょうか。（貝が出なかった。もっとあるかと思ってましたが～）
- ・次は動物の化石を見つけないかと思えます。
- ・ほとんど見つけることができなくて残念でした。次はたくさん取れるようにがんばりたいです。
- ・他のところで歯の化石が多く見つかったいたのでおどろいた。
- ・虫の羽がきれいに光っていて神秘的でした。次年度もぜひ参加したいです。
- ・虫の羽が見つかった。 ・今日はあまり暑くなく良かった。
- ・小さな種や実を子どもたちがしっかりみつけていたので感心しました。すごいなあ～
- ・天気が良く午前に多くの成果が出た。来週も数回、短時間ですが集中して掘りたい。
- ・初めてでしたがたくさんとれて良かったです。
- 〃・植物がたくさん出て楽しかったです。次は貝など他のものも掘りたいです〃

朝から曇っていたので少し暖かったのですが、だんだん暑くなってきました。午後は風があつて少し涼しくなりました。きのうよりずいぶん人数が減りましたが参加者は31名でした。

朝は9時少し過ぎて、外に敷いたブルーシートの上に今日の班別に集まって始めました。標本記録係は午前中は専門班Nさんでしたが、けっこういいペースで化石が見つかりました。

きのう開会あいさつをいただいた生涯学習課課長も発掘に参加していただいたので、グリッドの中では26年前のアケボノゾウ発掘の話(昔話)で

“伝説の化石発掘者たち”が盛り上がっていたようです。きょうの発掘のなかで特筆することは、(仮説F層の下の方のノジュールのあたりに「骨の層があるらしい」ということです。北側の壁の下のトレンチの底のF層下部のノジュールのところの骨は団長が掘って小さな骨だと確認しました。午後にはYさんたちが北側の壁のすぐ下を掘って確かめてみました。化石は多く出ましたがまだ骨は出ていません。骨の層仮説が正しいならそこまで深く掘ったら出てくるゾウ!ということに。

セクションベルトの南の壁面のノジュールのところ(F層のすぐ下のG層だそうです)にも骨が顔を出しているようです(※あとで確認して骨でないとわかりましたが・・・)。



学習会は昼休み後に発掘地へお入り「発掘地の地層の堆積環境について」で今掘っているF層とアケボノゾウがでてきた層の位置づけについても言及いただきました。この発掘期間のさいごのほうで骨化石がでてきたらいいなという部分だけ覚えめました。

午後は化石の出てくるペースは落ちたのですが、時間が経つにつれ涼しくなってきたこともあり最終的にはきのうの数に近づいてきました。

15時20分アミンチュの2名が撮影にきてくれました。貝が出てきた瞬間も見てもらいました。15時50分終了。後片付けも皆手際よく、まとめの会をしっかりと終了しました。

参加された皆さんの感想【4月21日(日)】

- ・様々な化石を発見できた。ハンカチの化石(※ハンカチノキ)を初めて発掘できたので良かった。
- ・イシガイの化石がきれいな形でみつけれられました。今日は小さいものがみつけれませんでした。
- ・最初から小割するのでなく 大割して→小割りの方が作業効率が良いと思う(進捗率の向上)
- ・午後は日が照らなくなって見つけにくかった
- ・F層の下部でG層近くをトライした(植物の断片が多かった)
- ・あっという間に時間が過ぎていきました。来週もよろしくお願いします
- ・あまり化石は取れなかったけれどできて楽しかったです。
- ・化石は発見できなかったけどワクワクしながら発掘できたのでよかった。次回は何かをみつけたいです。
- ・たのしかった
- ・忙しさには「波」がありますね。出土の連鎖反応。

学習会… 「発掘地の地層の見かたと堆積した環境」

参加者…はしかけ：10名 多賀町発掘お助け隊：5名（うちアミンチュ2名（午後） 専門班：10名

事務局：6名

4月22日（月）第七次発掘調査第3日目

曇りのち晴れ

月曜日は博物館の休館日。朝は曇っていたので暖かく、日本海に中心を持つ高気圧の張り出しでたいへんいい天気でした。風もあって、発掘区の外では涼しくさわやかな1日でした。みなさんお仕事や学校で来られない方が多く、ずいぶん人数が減りました。せまいグリッドも広々と感じます。

。

朝は9時少し過ぎて集まって、団長も出張で不在。発掘がすぐ始まりました。標本記録係兼タイムキーパーは事務局T、思い思いの場所で掘り始めましたが午前からけっこういいペースで化石が見つかりました。そのうち足跡化石班のO先生がお見えになって、足跡の型どりの仕上げを午前中にされました。

休憩時間は スマトラサイの足跡の白い型どりしたものと、ここで昨日までにとられた型どりを並べてミニ学習会になりました。

きょうの学習会は地質班のTさんにいただき、四手の堆積環境と火山灰の観察講義のあと、全員がセクションベルト南にある深いトレンチへ降りて、壁面をガリで削ってG層、H層の見方を教えてもらいました。

きょうは目立った化石は出ませんでした、ほどよく休憩して、さわやかな早春の発掘をみんなで楽しんだ一日でした



学習会… 四手の堆積環境と火山灰の観察

参加者… はしかけ：4名 多賀町発掘お助け隊：0名 専門班：1名 事務局：2名】

参加された皆さんの感想【4月22日(月)】

- ・午前中に昆虫の羽がよく出たけれど午後はあまり出なかった。勉強会は毎回勉強になります”。
- ・午前中は曇り空だったが昼からはかなり暑くなった。今日は咽頭歯が出なかった。期待の大型のものは出なかった
- ・連日ご苦労さんです。足跡班は3日分をまとめて調査内容を記しました。型の解析はこれからボチボチやります。よろしく。”

足跡化石班 4月20日（土）の記録～21日～22日の記録

- (1) 足跡化石の調査はEラインからFライン（土手）の間の平坦にそうじしてもらった所を重点的に見た。
- (2) 20日はG25の半分、G24、G23の2.5区をきれいにそうじして足跡の模様を探した。その結果ササノハ形やもっと細いヤナギハ形のもの、それらの集合したものを10ヶ所確認した。大型で円形のものはなかった。
- (3) 21日は未観察の区域であるG22、G21をそうじして2ヶの大型円形の模様を確認した。その内の1ヶは中に砂が入っていたためくぼみを発掘したところ長い蹄の跡が2～3個確認した。サイ類の可能性があるのでウレタン樹脂で凸型をとった。もう1個はE0点に近いもので鉄分の多いサークルになったノジュールが多く発掘不可であった。
- (4) 22日 G24、G23、G22、G21を再度見たが明瞭な足跡はなかった。
- (5) 第六次までに発掘したG11を再度見たが新しい足跡は発見できなかった。
- (6) G22、G23の小型ササノハ、ヤナギハ形のもの10個の内6個は発掘してシリコンゴムで型どりをした。

以上

4月23日（火）第七次発掘調査第4日目 曇り

曇りでした。天気予報は暑くなり6月から7月の気温と言っていたのですが、南風が強かったので、グリッド低地から出たらそれほど暑くもなかったです。でも南風でテントがあおられて飛びそうだったので、昼休みの学習会からは発掘地側とは反対の沈澱池側を開放した「半分建て」の状態ですごしました。「発掘地を見ずに休憩するのさみしい」の声も聴かれました。その後は、「古代ゾウ発掘するゾウ」の旗も破れそうな風だったので、旗を片付けていただきました。

朝は9時少し過ぎて全員揃わないまま開会の団長挨拶、



さあ発掘というときにはみんなが揃いました。

第1限、「おはようございます」はしかけH会長の声が発掘地に響いています。きょうもセクションベルト北側の発掘斜面に散らばってF層を掘ります。スタートから昆虫の翅が出てきました。午前中には発掘地に突然の来訪者、車のバッテリーがあがったので動かしたいので手伝ってほしいという方が来られて対応してもらいました。



学習会はお昼休みの前に、はしかけ古琵琶湖発掘調査隊長に「はしかけの活動と発掘地からの微小化石抽出とその研究」のお話をお願いしました。試行錯誤していろいろな方法を編み出しながら熱心に研究を進められている様子が紹介されました。

午後は団長と事務局1名も抜けましたが、かわりに専門班昆虫化石班が来ていただきました。

15時頃発掘現場に戻ってきたら、粘土の山に人が集まって何やら議論をしているようす。私には「ここへ捨てなかったか？」と聞かれました。実は、はっきり骨化石と分かる化

石が多賀町発掘お助け隊のニューフェイス Kさんにより発見されたのです。化石をしっかり見る目を持っておられます。

発掘は、15時50分ころ終了。明日雨が降りそうなので発掘区の斜面の細かい粘土を掃除して、後片付けし、まとめの会をして終了しました。団長は会議から戻ってこれませんでした。きょうのまとめでは「みなさん粘土塊を捨てる時は注意を払ってよく見てから捨てましょう。」のしめくくりのことばがありました。

◎反省点： 粘土山から骨化石が出てきた。わかりやすく見えている状態だった。層準は推定できるが、地点を決められないのが悔やまれる。

学習会… 「はしかけの活動と発掘地からの微小化石抽出とその研究」 （はしかけ古琵琶湖発掘調査隊長）、
「地層と骨化石の話」

参加者…はしかけ：3名 多賀町発掘お助け隊：1名 専門班：2名 事務局：3名 （+博物館事務局1名）

参加された皆さんの感想【4月23日(火)】

- ・勉強会で話させていただいてありがとうございました。微小化石調査へのあつい想いをきいていただけてうれしかったです。皆様と現場でたくさんおはなしできてたくさんのことを学べた一日でした。ありがとうございました。
- ・午後から出た貝化石がけっこう大きさがあったので良かったです。ガレキ置き場から骨化石を見つけました。ちとっと複雑な気分です。（掘り起こして発見できればよかったのですが）
- ・Y7 残土置き場からシカの足（？）骨が見つかったのは残念な気持ちの方が大きい。見えているのに見ていない事もあるものだ。
- ・つかの間の時間でしたが皆さんと小割でき良かったです。最終日までに何か成果が出せれば嬉しいです。
- ・ほとんど成果はなかった

4月25日（木）第七次発掘調査第5日目

曇り

前日の雨はそれほど多くなかったので排水の心配はそれほどなく、天気回復を待って1時間遅れの集合にしました。空は曇り、人数が少ないので団長到着を待たずして10時5分に開会しました。発掘地は雨のあとのぐちゅぐちゅの状態、すべりやすく汚れやすい状態です。午前中の来訪見学者として地層や堆積学の先生がお見えになりました。そのほかは発掘にあたりましたが、どろどろの発掘斜面を掘っているうちにすぐ小雨がぱらぱらと……。雨具を付けて小休止と言っていましたがそれでも小雨がやまないで10:50に休憩の号令をかけました。

テントで休憩して待機。それでも小雨が降りやまないで、発掘を少し待ち、学習会に切り替えました。学習会は「キッチン地球科学：小麦粉とココアパウダーを使って断層をつくる」でお話（学習）と実習。少し昔使われていたスライド写真のケースに小麦粉とココア



粉を順に重ねて入れて地層をつくり、そのあと、地層にヘラで横の応力をかけると逆断層ができる実験です。みんなきれいな断層をつくって感激しました。これが両側からつくとちょうど滋賀県の地形にあたり、まん中が琵琶湖にあたります。そんな説明や、フィリピン海プレートの沈み込みと琵琶湖の移動というお話も含めると壮大！、このほかにもキッチン地球科学の実験があることも教えていただきました。学習会にしっかり時間を使ったあとまだ小雨がやまないで、仕方なくそのまま昼休みにしました。



午後は雨があがったので予定通り発掘しました。粘土はやわらかく割りやすいのですが、肝心の「化石が出た」の声が鳴りをひそめ、きれいな円筒形の材化石がでたときだけみんなが盛り上がりました。はしかけ会長はきょうも午後は微小化石用粘土を採集でした。発掘を終えて泥だらけになった道具を洗って、テントを倒したら水が屋根の上にとっかりたまっていて、倒した人めがけてざぶっとかぶるシーンもありました。帰りの時間になってやっと太陽が顔をのぞかせたのは、くやしい瞬間でした。あすはいいお天気になりますように！！

学習会… 「キッチン地球科学：小麦粉とココアパウダーを使って断層をつくる」

参加者…はしかけ：2名 多賀町発掘お助け隊：2名 専門班：1名 事務局：3名

参加された皆さんの感想【4月25日（木）】

- ・朝は雨が降っていなかったが、11時頃から本格的な雨になり、ドロが多くなり化石が探しづらくなった。
- ・断層の出来方の勉強会がすごく納得で楽しかったです。雨が降ったこともあり作業が思うよりかはどりませんでした。土が泥となって見えにくくな一日でした。発掘のしやすさも天候に左右されやすいことが知れる1日でした。
- ・雨になってしまったので発掘作業は残念な結果。PMで雨が上がって少し掘りやすくなったが、大きな収穫がなく残念でした。
- ・今日は雨だったのですが、テントの下で勉強会をしていただいて、断層のできる様子の実習がとても楽しかったです。つくる人それぞれの個性で、地層のでき方がちがいで、断層ができるしゅん間の様子も観察できて本当に楽しかったです。微小化石用の土サンプルもいただけて、雨ふりでしたが、がんばって活動させていただきました。残りの日程、お天気がよくなりますように。



4月26日（金）第七次発掘調査第6日目

曇時々雨のち晴れ

天気予報は「曇り」。甲賀市のほうは朝から雨が降っていたので心配になって早く多賀へ来たら、雨は降ってなさそうでした。発掘地は朝はまだすべりやすかったのですが午後には歩きやすくなりました。曇り、雨、曇り、晴れ、曇りと

めまぐるしく天気が変わる中を発掘しまずまずの成果でした。団長出張で9時過ぎ開会そしてそのまますぐに発掘開始1限に入りました。曇りで化石が見にくくまた 発掘地は雨のあとですべりやすいです。それでも、昨日と比べると記録係と呼ばれる機会があったのは良かったです。

10時過ぎ休憩でテントにいと休んでると雨が降ってきました。雨雲レーダーにかかっていない雨雲です。雨がやんだ発掘2限から天気が回復してきました。

11時過ぎには太陽が顔をだした。鳥のさえずりも聞こえ（「ホオジロ、カワラヒワ、キジの声が聞こえる」） 風もさわやかになってきた。団長が出張を終えて参加、29日の親子化石発掘体験の段取りで動いておられた。

お昼休みは、下のぬれた床よりも乾いた外ということで、外のブルーシートの上で過ごしました。昼の学習会は事務局Tから「栃木県の自転車旅と那須塩原の植物化石」でブルーシートに地図を広げてのお話です。塩原湖成層のサンプルを割る体験は午後の休憩でやってもらったのですが、そこからはきれいな葉っぱの化石が出ました。お昼休みには、現場でお世話になっている滋賀鉱産の方々が見学にお見えになりました。

午後は太陽の下でさわやかな発掘ができました。現場からも植物化石！ブナの葉っぱの化石が産出しました。。また、午後の休み時間には、親子化石発掘体験（29日・月祝）を少々雨の日でも現場のグリッドG1やG6あたりでやろうと、雨よけのブルーシートをみんなで広げるシミュレーションをやりました。天気予報がこの先少し心配ですね。天気は、終了間際にはまた曇ってきたのです



学習会… 「栃木県の自転車旅と那須塩原の植物化石（実習も）」 （

参加者…はしかけ：3名 多賀町発掘お助け隊：2名

専門班：1名 事務局：2名 （+博物館事務局1名）

参加された皆さんの感想【4月26日(金)】

- ・AMは雨が降ったり止んだりでいまいちパットしなかった。PMは天気回復し発掘日和に近い日になり少し元気が出た。貝化石発見で良い方でした。
- ・午後からは雨も上り、楽しめました。
- ・今日も骨は見つからなかった。残念。
- ・今日成果が少なかった

4月27日（土）第七次発掘調査第7日目

薄曇り

天気予報は朝は北部は50%の降水確率。朝から甲賀市は曇りでしたが日野・東近江と雨がザーザー降ってた。

ところが多賀に近づくにつれ天気が良くなってきました。今年の冬の雪の降り方に似ていました。



午前は曇り、午後は好天、でも風がとても強い発掘日和でした。9時5分団長の朝の挨拶で始まった7日目の発掘です。発掘地は水は増えていましたが、きのう・おとといと比べると乾いて発掘しやすいコンディションでした。セクションベルト北側の発掘区を1班は斜面の下の方、2班は斜面の上の方にとほぼわかれて発掘しました。朝は曇っていて小雨かな？という時間もありましたがだんだん好天になり発掘日和でした。でも風がやたらと強く、風の影響を受けない方向に片足 TENT をたてたのですが、それでも風にあおられて骨組みが風で抜けて TENT がばらされるといった状態でした。なかでも、南の方に足を折り曲げて置いてある資料用の TENT は、骨組みが抜けてバラバラの状態にまでなっていました。

本日の学習会はお昼休み前に実施しました。専門班 A 先生の「ノジュール層に含まれる化石の破片から古環境を考える」がテーマで、午前中採集の貝の破片や骨？破片を含むノジュールを使って「どのようにしてできたのだろう」と考えることの重要性を教えてくださいました。40年以上にわたって古琵琶湖層群のフィールドを観察してきた A 先生の経験から出てくる観察眼、お話しからむかしの環境について想いを馳せることができました。また団長が博物館から以前採集された「四手仏石」ノジュールの写真（絵葉書にもなった）を持ってきていただき古環境に関しての話がさらに深まりました。

午後は人数も減って、静かな発掘の時間もあったのですが、全体としてたくさんの化石が出てきました。、はしかけと、多賀町発掘お助け隊のみなさんの元気な声が響く、パワフルな1日でした。H 会長はきょうも F 層最下部から G 層にかけての微小化石抽出用の粘土塊の採集に頑張っておられました。

発掘の条件も良く、早く終わるのはもったいないので最終のおわりを16時にしたら、TENT の復元やら後始末に意外に手間取ってしまって、解散が16時40分になってしまいました。16時33分の帰りのバスの時刻に間に合わずバスで帰る人にご迷惑をおかけしました。明日からは気を付けましょう。



学習会… 「ノジュール層に含まれる化石の破片から古環境を考える」

参加者…はしかけ：7名 多賀町発掘お助け隊：1名

専門班：2名 事務局：2名（+博物館事務局 1名）

参加された皆さんの感想【4月27日(土)】

- ・開始したときはさむいぐらいの気温でお天気が心配でしたが皆さんの楽しそうな声がひびく現場で元気に活動できました。勉強会でのお話や発掘現場付近のすこし昔のお話も聞けて本当に楽しかったです。土サンプルも南のトレンチ付近でとらせていただきましたが層をしっかりとみるのがとてもむずかしく、どこからとるかとてもなやみましたが専門班の先生のアドバイスもいただきながらとることができました。ノジュールや土のようすをがんばってみさせていただけるとてもうれしかったです。
- ・シマシマ文様の何かわからないもの（化石）が見つかりました。何だったのか楽しみです。
- ・午前は微妙な天気でしたが、午後からは晴れて良かったです。ただ、最後の時限では採集物がゼロ……！悲しい結果となりました。
- ・今日は何かわからない（不明的）物がけっこう出ました。堅いノジュールの所に貝が見つかり、大きめの貝もあったのでおどろきでした。数日間みなさんと楽しくすごさせていただきました。ありがとうございました。

4月28日（日）第七次発掘調査第8日目

晴

さわやかないいお天気でした。たくさんの人が参加していただきたくさんの化石が採集できました。人数が多かったので、4班つくって第1～第3班がセクションベルト北側、第4班がセクションベルト南側を発掘しました。大人数であり、またF層もだんだん深まってきて少し化石の多い層になったせいか、化石の数も3けたに達しました。すごい！！

発掘1限後の休憩で昨日風でバラバラになったテントの修復をおこないました。休憩時間はこまめにとることができました。また、たくさんの人が参加したのでおやつ係が大変活躍してくれたし、「おやつ」もたくさん集まってきて、楽しく気持ちよく過ごせました。発掘は好天で涼しく、全体に静かな雰囲気が進みました。みんなが化石採集に集中したせいでたくさん採集できたのだと思います。

学習会は昼食後12時45分からテントの下で実施しました。専門班Tm先生の「脊椎動物化石とくにサイ化石の特徴について」です。足跡化石班のO先生からTm先生あてのメールで「28日に多賀へ行く時に、「サイ類の骨や歯の化石、現生の図など」をみんなにお見せしてほしいというご提案」を受けての学習会でした。学習会の最初は多賀で見つかったワニや魚の歯のお話からスタートしました。サイがどのような化石が見つっているのかを大型のタブレットを使ってお話いただきました。野外でもあり画面が光って少し見にくかったこともありますが、ズームアップして骨や歯のとくちょうが見られるのは良かったです。ポーランドの方の論文でサイの化石のことが勉強できることを紹介してもらって、はしかけのNさんが熱心にメモをとってくれたので紹介します。『Borsuk-Bialynica(1973), Studies on the



めんな サイ 』 でした。

あとで、webでrhinoceros *Coelodonta antioquitani*を検索したらサイの画像が出てきました。

学習会のあとはすぐに午後の発掘、「みつけるぞ」と勇んでみんな発掘地に出かけました。午後も集中力を切らさずに発掘は進み、運んだ粘土の山も大きくなりました。専門班のSさんの調査するセクションベルト下の壁面では、壁面もきれいに磨かれ、G層、H層のマークがついていて、ノジュールのできかたの話が数名で議論されていました。



参加された皆さんの感想【4月28日(日)】

- 皆で楽しく発掘でき楽しかった。今日で（私は）最終日ですが残らせた皆様はガンバッテ「象」目標で発掘して下さい
- 植物片はたくさん出てきたのですが、保存するに値するような化石があまり出なくて残念でした。しかし、他の方が発見された化石（昆虫、貝など）を見ることができて勉強になりました。学習会も面白かったです。また明日も頑張ります。
- 今回は最期に貝がでた。 ひさびさだったのでうれしかった！ 次は骨系を見つけたい。
- たのしかったです。
- なかなか昆虫のハネ以外に出なくて残念でした。次がんばります。
- サイについてくわしくお話をききました。何か熱心に研究している方はすてきななあと思います。
- 連日、短い時間ですが楽しく集中して出来ました。ラスト2日 みな様と共に頑張ろうと思います。
- 参加された方々とのすばらしい出会い・交流が良かったです。
- 担当した範囲は植物のかけらが細くなっている所でした。ひしや枝が細かくちらばっていました。
- 次はちがうのを見つけたいと思います。
- 今日で最終日でしたが、発見した標本が約25点と、まあ貢献できたかなと思います。来年こそは大きな発見を。（※このあとサイ化石論文のメモ）
- 今日で2回目の参加でしたが、前回に比べて、今日はほとんど化石をみつけられず、発掘の難しさを感じました。貴重な体験ありがとうございました。

4月29日（月・祝）第七次発掘調査第9日目

曇

天気予報は「曇り夕方から雨」でした。午後が心配でしたがなんと一日降らずにすみました。

きょうは3班つくって第1～第3班みんながセクションベルト北側を発掘しました。化石の数もけっこう多く、シカの骨化石も出ました。けっこうきれいな植物化石も体験で出たのもう一度調査してもらった方がいいとはK団長の弁。

9時07分 開会 班ごとに集合 団長挨拶 きょう初参加の方の挨拶、班長決め、おやつ係決めのと発掘1限に入りました。きのうと同じくスタートから好調な発掘風景でした。

休憩1限の後半10時10分くらいから団長がプリントをみんなに配り、午後からのイベント 親子化石発掘体験の内容と役割分担の説明をしました。親子化石発掘体験の内容は昨年度とほぼ同じ内容でしたが、人数は去年より少し少なかったです。（※ 降水確率がきのうの予報より今朝のほうが高くなっていました。したがって、雨バージョンの場合の計画である「土のう袋に入れた現地の粘土塊を博物館まで持って行って、スタッフもそちらへ行く」という計画の説明もありました。）

10時25分からの発掘2限のできごとはドラマでした。Kさんが掘っていたところで、「これは何ですか材ですか?」「そうやろう」・・・「材や材や大きな材やとみんな言ってた」・・・というのが実は骨化石だったのです。専門家のTさんがいてねいの彫り上げました。骨の産状は「立っている状態でした」。写真も撮って保存しました。「そういえば先日の学習会でSさんが『材と言ってもこわさずにいてねいに扱う』という講義があったな」と団長。

雨の心配もあったので、発掘調査を続けて、昼食は少し遅らせて、12時半までがんばって・・・としました。反省点ですが、午後になってタッパーウェアなど化石保存容器が足りなくなったのは、容器をたくさん準備したにもかかわらず今回の発掘ではそれ以上の化石が採集できたからでした。

午後は「発掘」と「親子化石発掘体験」を並行して行うパターンです。親子化石発掘体験の人たちにも、私たちの発



掘風景を見てもらうという去年と同じ忙しい計画でみんなが動きました。

たくさんの化石を採集して、また親子化石発掘体験も雨が降らずに無事終わることができました。

バスの時間を気にしながらまとめの会 3班の報告と琵琶湖博物館館長のTさんの発掘のまとめ、今回の発掘に参加してのひとりひとりの感想、そしてK団長の締めめの挨拶でまとめました。

そして、そして、第一次発掘でみんなでやって、久しくやっていなかった「古代ゾウ発掘するゾウ パオーン」の「パオーン」をやって、今回の第七次発掘調査を締めくくりました。

閉会のあとバスで帰るメンバーを見送り、みんなで道具やテントの後始末。テントだけ残して明日雨でも事務局で片づけるというシナリオだったのですが、なんとみなさんでテントをたたむところまでお手伝いいただきました。感謝！感謝！大変ありがたかったです。



みんなで一斉に「パオーン」

学習会…

親子化石発掘体験の打ち合わせ

参加者…はしかけ：12名 多賀町発掘お助け隊：7名 専門班：3名 事務局：3名（+博物館事務局1名）

参加された皆さんの感想【4月29日(月・祝)】

- ・第七次も私にとってみのり多い発掘でした。微小化石のサンプル採集で土をじっくり見る勉強もさせていただきました。現場でも化石がたくさん出はじめ、多賀の皆さんとも協力して発掘調査をすすめることができました。たのしかったです。ありがとうございました。
- ・シカ(?)の骨の出た日に出会えて良かったです。G層までいかなかったので次回も期待したい。
- ・最後らへんに、骨化石っぽいのと歯みたいな化石がでたのでうれしかった！
- ・動物の骨が出た！！
- ・シカの骨が見つかってよかった。木片だと思ったのが骨だとはびっくり！！
- ・しかの骨が見られて良かったです。貝や魚の歯、虫など、貴重な体験ができました。
- ・今日は昨日は見つけれなかった昆虫化石を多数見つけることができ、嬉しかったです。また、シカの骨化石が産出したのを見ることができ、感動しました。
- ・第七次発掘の僕の一番よかったのは、おとといのしま模様のナゾ化石でした。何だったのか、楽しみです。
- ・明日は雨なので今日が最終日。七次も全体に成果が少なかった。
- ・今日は子供さんの体験会もあり、そちらのお世話でいそがしく自分の発見物は全くなかった0デー。子供たちは木の葉を多く見つけていた。

4月30日(月・祝)

この日最終日の予定でしたが雨で中止

[illegible]